

CLINICAL REPORT 2022



関西医科大学香里病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY KORI HOSPITAL

外科・乳腺外科

教授

綿谷 正弘 乳腺センター

診療部長・教授

吉田 良 消化器外科

診療部長・講師

兼松 清果 乳腺外科

病院准教授

岩本 慈能 消化器外科

講師

田中 義人 消化器外科

岡崎 智 消化器外科・乳腺外科

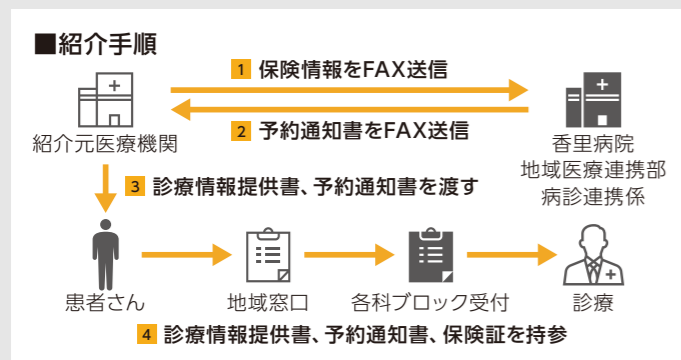
病院助教

松井 雄基 消化器外科

任期付助教

笠原 実貴子 乳腺外科

患者さんの紹介について

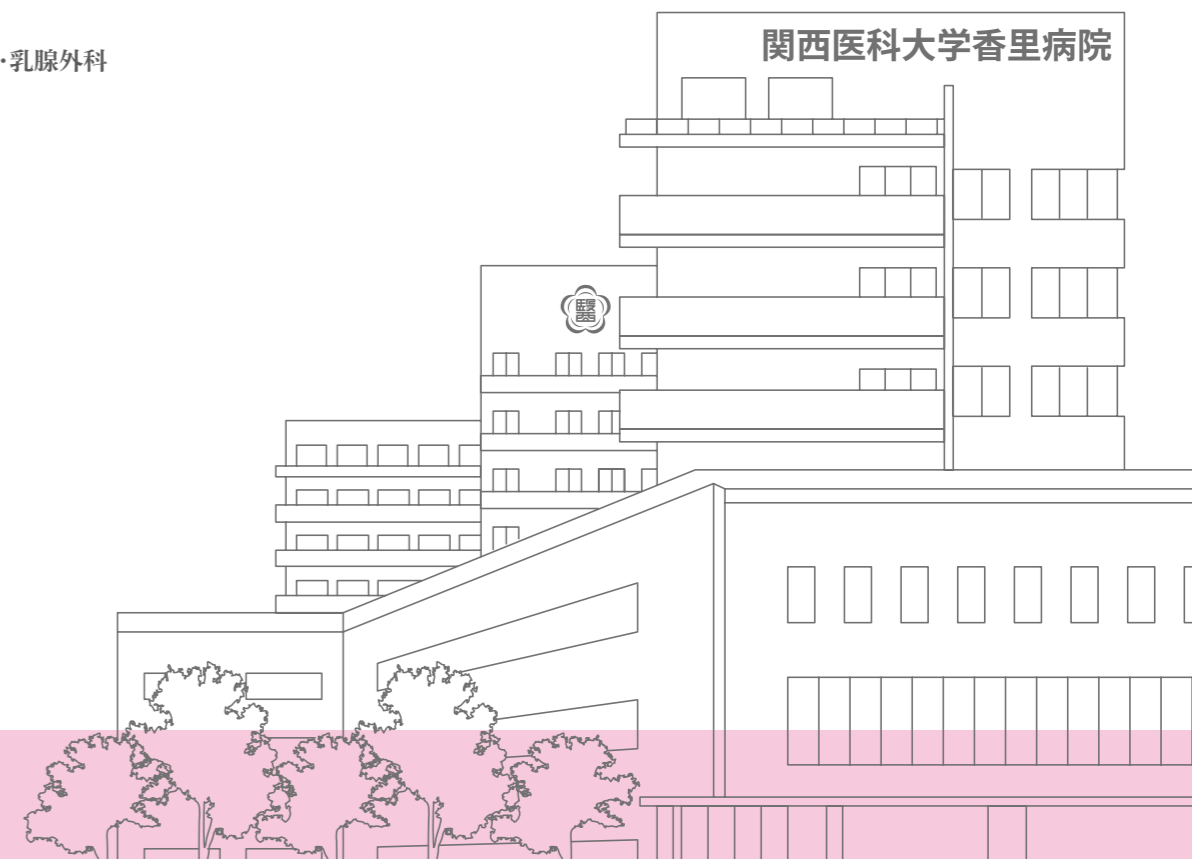


- 1 患者保険情報連絡票にご記入のうえ、診療情報提供書と合わせて、FAX【072-832-9988】に送信ください。
- 2 送信頂いた患者保険情報、診療情報提供書をもとに予約をお取りして予約通知書をFAXいたします。
- 3 患者さんに診療情報提供書と予約通知書をお渡しください。
- 4 患者さんは診療情報提供書・予約通知書・保険証を持って予約時間の20分前までに【5番・地域医療連携窓口】にお越しください。

※診療科、診療日、医師の指定がある場合は、FAXにご記入ください。

※用紙請求については当院ホームページよりダウンロードいただくか、下部の連絡先にご連絡いただきますようお願いいたします。

※受付時間 平日 9:00~20:00/土曜日 9:00~12:30



診療実績 (2021年度)

外科

| | |
|--------|--------|
| 外来新患者数 | 420人 |
| 外来延患者数 | 4,220人 |
| 入院新患者数 | 416人 |
| 入院延患者数 | 5,908人 |

手術件数

| | | |
|------|-----|-----|
| 悪性疾患 | 結腸癌 | 44件 |
| | 直腸癌 | 11件 |
| | 胃癌 | 19件 |
| | その他 | 14件 |

| | | |
|------|----------|-----|
| 良性疾患 | ヘルニア(成人) | 60件 |
| | 胆石症・胆道系 | 65件 |
| | 虫垂炎(成人) | 14件 |
| | イレウス | 5件 |
| | その他 | 40件 |

| | | |
|-----|-----------|-----|
| その他 | CVポート留置 | 22件 |
| | 人工肛門造設・閉鎖 | 20件 |

化学療法件数

| | |
|------------|------|
| 外来(がんセンター) | 345件 |
| 入院 | 92件 |

乳腺外科

| | |
|--------|--------|
| 外来新患者数 | 835人 |
| 外来延患者数 | 9,317人 |
| 入院新患者数 | 179人 |
| 入院延患者数 | 1,655人 |

手術件数

| | |
|----------|------|
| 乳癌 | 126件 |
| 良性疾患 | 13件 |
| CVポート留置 | 3件 |
| マンモトーム生検 | 78件 |

化学療法件数

| | |
|---------------|------|
| (がんセンター実施分のみ) | 600件 |
|---------------|------|

診療アウトライン

地域医療に根ざした診療を行なっています。日帰り手術から高難度の各種手術までを行い、消化管疾患に対して低侵襲の腹腔鏡補助手術を積極的に行なっています。また、入院・通院での化学療法も行なっています。入院期間の短縮、痛みの少ない治療など、退院後の生活の質や機能性を考慮した患者さんにやさしい医療を心がけています。

トピックス

■外科

消化器外科では患者さんにやさしい医療として、腹腔鏡下手術を積極的に導入し、実践しています。

胃癌、大腸癌に対する腹腔鏡下手術の適応基準はガイドラインに則した標準的なものとしながらも積極的な適応を実践しています。しかし、腫瘍径の大きなものや他臓器浸潤を伴う症例、腹腔鏡下手術では必要十分な郭清ができない症例において、技術的もしくは腫瘍学的に安全を担保できない場合は躊躇なく開腹手術を選択しています。

胆石症や胆嚢炎などに対して行う胆嚢摘出術はほとんどの患者さんに対して腹腔鏡下に行なっています。標準的な腹腔鏡下胆嚢摘出術は臍を含めた4か所のポートを使用するため、当然4か所の傷が必要になります。しかし、当院では臍のみに複数のポートを挿入する単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術も行なっています。傷が臍のみに限定されるため、当然痛みは少なく、傷跡もほとんど分からなくなるため、患者さんにはご好評を頂いています。

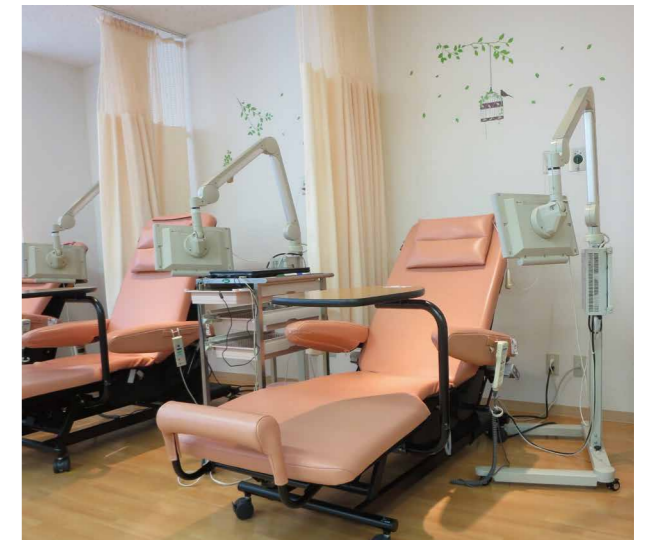
鼠経ヘルニアに対しては腹腔鏡下鼠経ヘルニア根治術を導入し、再発や合併症は低率に抑えられ、良好な成績を上げています。従来法に比べて痛みは軽く、腹腔内から両側鼠径部を観察できるため、反対側のヘルニアが発見されれば同時に根治術を行うことも可能です。

トピックス

■乳腺外科

診断:2021年3月にトモシンセシス撮影(3Dマンモグラフィ)が可能な最新のマンモグラフィ撮影装置を導入しました。トモシンセシス撮影を併用することで、乳房内の微小石灰化病変を容易に組織検査(マンモトーム生検)することができ、石灰化の生検検査にかかる時間が短縮しました。2022年2月に超音波検査装置が新調されました。エラストグラフィを搭載しており、組織の硬さを画像化または数値化して評価することができ、より乳癌の検出の精度が上がりました。

治療:乳癌だけでなく、乳腺全般の疾患(乳腺炎、良性腫瘍等)の治療も行っています。施設的に放射線治療など、当院でできない治療は、関西医科大学附属病院・総合医療センターと連携し、標準的な乳癌の治療を行っています。乳房再建は、非常勤ではありますが形成外科専門医に協力してもらい施行しております。



化学療法外来

